

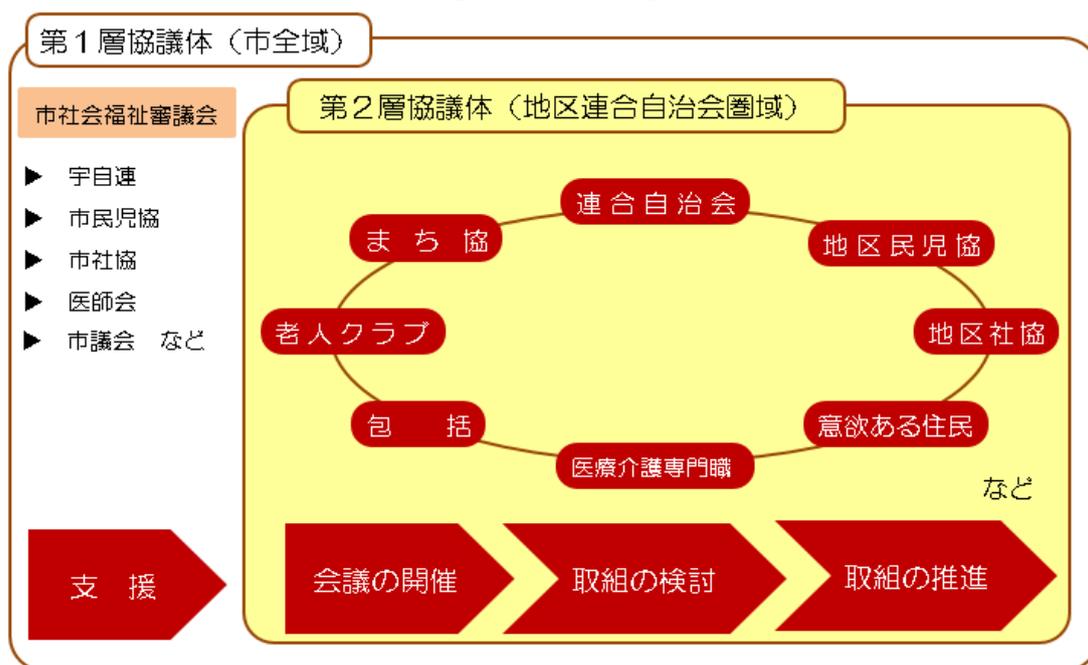
第2層協議体事例集作成の背景

少子・超高齢化が進む中、宇都宮市では、高齢者一人一人がいきいきと安心して地域で暮らすことができ、「長生きしてよかった」と思えるような社会を目指して、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。

「地域包括ケアシステム」とは、高齢者の身体状況などに応じたサービスや支援を包括的に確保する体制であり、医療や介護などの専門的なサービスの体制整備に加えて、市民一人一人による介護予防（健康づくり）や、身近な地域での生活支援（地域支え合い）活動などが欠かせません。

こうした中、地区連合自治会圏域に設置された第2層協議体では、地域のまちづくりや福祉の団体などが参画し、地域における見守りや支え合い、居場所づくりなど、地域の高齢者を支えるために「地域でできること」について検討が進められています。

【協議体の概要】



この事例集は、コロナ禍においても、各地区間の情報共有の機会を確保する観点から、それぞれの地域における取組がより一層充実したものになるよう、各第2層協議体の具体的な取組事例をまとめました。

※ 留意事項

- ・ この事例集は、了承があった地区のみ掲載しています。
- ・ 令和5年2月時点における状況をまとめています。会則やチラシ等の参考資料については、その作成当時のものであり、現時点の状況とは異なる場合があります。